

企 | 画 | 展

わら と 生活

2020 7/18^土 ▶ 11/3^火 祝

公益財団法人 仙台市市民文化事業団

仙台市歴史民俗資料館

Sendai City Museum of History and Folklore

〒983-0842 仙台市宮城野区五輪 1-3-7(榴岡公園内)
TEL 022-295-3956/FAX 022-257-6401

ホームページ

<http://www.sendai-c.ed.jp/~bunkazai/~rekimin/index.html>
E-mail folkmuse@deluxe.ocn.ne.jp

【入館料】一般・大学生 / 240円(190円) 高校生 / 180円(140円)
小・中学生 / 120円(90円)
※()は30名以上の団体料金
※「どこでもパスポート」を提示の小・中学生は無料です。
※仙台市内の「豊齢手帳」「豊齢カード」をお持ちの方は無料です。

【開館時間】午前9時～午後4時45分(入館は午後4時15分まで)
【休館日】毎週月曜日(休日をのぞく)、休日の翌日(土・日・休日をのぞく)、
毎月第4木曜日(12月をのぞく)、年末年始(12月28日～1月4日)

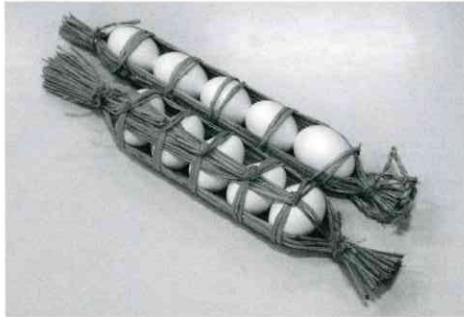
企 | 画 | 展

わらと生活

2020年7/18(土)～11/3(火・祝)

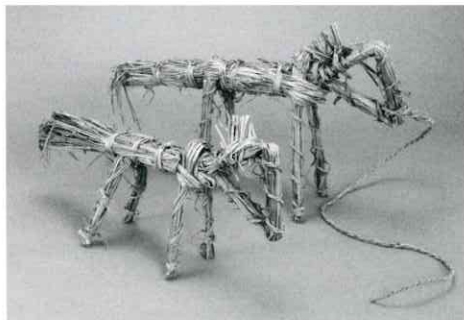
「わら(藁)」とは、稲、麦などの茎を乾燥させたものです。昭和30年代までは、わらは衣食住、交易や交通、あるいは信仰や祭りなど、人々の生活に欠かすことのできないものとして、さまざまな場面で使われてきました。そこには実用的な機能や役割とともに、その生活美は民芸としても評価されてきた側面があります。本企画展では、わら製品を中心に民衆の生活文化について紹介します。

※表の写真は、栗原市瀬峰泉谷地区に伝わる、集落安隠・悪疫退散・害虫追放等を祈り、また旧領主橋本家の歴代先祖を供養するお屋敷祭りで使用される「わら人形(複製)」と、仙台地方の「藁糞」。



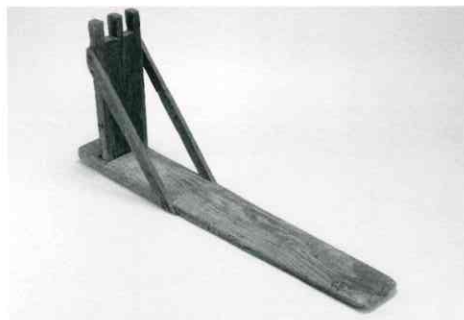
【卵ツト】

卵を持ち運ぶために包むもの。



【七夕馬】

七夕祭りのときに、母屋や馬屋の屋根にのせた。



【ゾウリ編み台】

ゾウリを作るときに使用する台。

関連イベントのご案内

会場は仙台市歴史民俗資料館です。

参加自由(入館料がかかります)

① 展示解説

日時:2020年7月18日(土)11:00～、14:00～

2020年8月2日(日)11:00～、14:00～

② 体験

「わら製品をさわってみよう」

日時:2020年8月16日(日)

10:00～12:00、13:00～15:00

「縄綱いをしてみよう」

日時:2020年10月4日(日)

10:00～11:00、11:00～12:00、13:00～14:00、14:00～15:00

定員:各回10名程度

③ 講座

「藁と生活—藁の文化のあたたかさを伝えよう—」

日時:2020年8月30日(日)13:30～15:00

講師:宮崎清氏(千葉大学名誉教授)

「昼業の観点からみたわら」

日時:2020年9月20日(日)13:30～14:30

講師:佐々木正悦氏(株式会社和楽会長)

同時開催のお知らせ

● 季節展示「七夕と盆」

7月4日(土)～8月23日(日)

● 夏のクイズラリー

7月18日(土)～8月25日(火)

会期中のその他のイベント

● 紙芝居「はくたちの学童集団疎開」等

7月25日(土)

● たんけん資料館

8月8日(土)、8月13日(木)、10月10日(土)

● 第13回ホームムービーの日「なつかし仙台8ミリフィルム上映会」

10月17日(土)

● れきみん秋祭り2020

10月24日(土)、11月3日(火・祝)

次回特別展のお知らせ

2020年11月14日(土)～2021年4月11日(日)

● 特別展「仙台の災害～天災は忘れたころに～」(仮)

交通案内

- J R / 仙石線「榴ヶ岡駅」下車徒歩約7分
- 徒歩 / 仙台駅東口から徒歩約20分
- バス / 仙台駅西口青葉通三井住友信託銀行前付近・仙台市営バス50番、51番乗り場から乗車、「はらのまち原町1丁目」下車、徒歩約7分
- 地下鉄 / 東西線「宮城野通」駅下車徒歩約17分

※ 自家用車の方は公園駐車場(50台・有料)をご利用下さい。



※このチラシはリサイクルできます。